



ごあいさつ

毎日暑い日が続いておりますが、いかがお過ごしでいらっしゃいますか。桑名は日本でも有数の“暑い”街として知られるようになり、39度を超える日もありました。夏の疲れが出る頃です。くれぐれもご自愛ください。

平成25年、三重県議会は「通年議会」となり、1月17日に開会され、12月20日までの338日間の会期となります。6月定例会議が終了し、7～8月は各委員会等の県内・県外調査がおこなわれています。9月13日には議案が上程される予定です。

今年は伊勢神宮式年遷宮がおこなわれます。ご遷宮を契機とした観光政策をどうすすめるか、様々議論がおこなわれています。三重県の発展のため、しっかり参加していきます。

虐待に関する相談件数が平成24年度1,000件を超えました。桑名でも、子どもの命が失われるという最悪の事件が起きました。検証委員会では出された課題解消に向けて真摯に取り組まねばなりません。その取り組みに注目し、だれもが「生まれてきてよかった」と思える三重県づくりをすすめたいと強く思っています。

県政に対する様々なご意見をお寄せください。お待ちしております。

◎所属委員会報告

- 教育警察常任委員会:教育委員会、公安委員会(警察本部)の所管及びこれに関連することについて審査・調査します。
- 予算決算常任委員会:県政執行に関する予算と決算について審査・調査します。
- 「実はそれ、ぜんぶ三重なんです!」連携調査特別委員会:三重を売り込む営業戦略について、部局横断的に調査します。
- 広聴広報会議:県民の皆様のお声を「広」く「聴」き、県議会での議論を経て、県民の皆様「広」くお「報」せするものです。みえ県議会だより(年6回・72万世帯配布)、みえ県議会新聞(年2回・4万部発行)の作成をおこなったり、『みえ現場de県議会』の企画・立案・実行をしたりします。

*現在、「県政だよりみえ」の配布方法等について見直しが行われている最中であり、変更があれば「みえ県議会だより」も同様に対応します。

◎『みえ旅パスポート』ご存じですか?

平成25年4月から「三重県観光キャンペーン～実はそれ、ぜんぶ三重なんです!～」が展開されています。スタンプラリー形式で三重ファン、リピーター増加をめざす「みえ旅パスポート」を発給しています。このパスポートは、スタンプやレシートを集めるとファーストステージ→セカンドステージ→プレミアムステージへと進んでいくことができます。三重県って実に様々な場所・物産等があります。是非いろんな所へお出かけいただき、県産品をお買いあげください。

★桑名のパスポート発給所は、

◎住吉浦休憩施設(桑名市太一丸地先)

◎はまぐりプラザ(桑名市赤須賀86-21)

◎桑名市物産観光案内所(サンファーレ北館2F)の3カ所です。

★無料で、お一人につき1冊です。

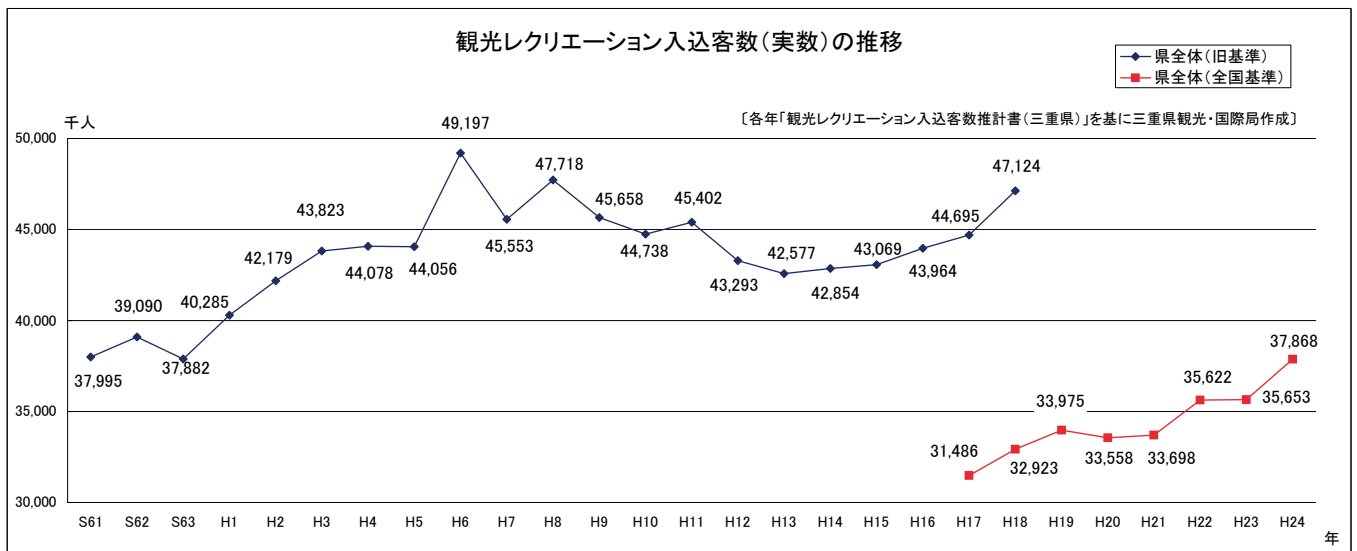


▲みえ旅パスポートファーストステージのパスポートです



▲三重県観光キャンペーンのロゴマーク

●観光レクリエーション入込客数(実数)の推移



※旧基準—調査対象施設：観光地と見直した地点

立寄り率調査時期：7月もしくは8月の連続した3日間(1回)

※全国基準—調査対象施設：年間5万人以上もしくは特定時期の入込客数が5千人以上となる観光地点

立寄り率調査時期：四半期毎に調査を実施

◎他に施設分類・エリア設定・立ち寄り率算出エリアなどの違いがあります。

●平成24年の三重県への観光レクリエーション入込客数は、約3,787万人で、前年比6.2%増となりました。県内宿泊者数は、約863万人で、前年からの増加率は全国2位の14.0%でした。

●5月に「2013日台観光サミットin三重」が開催され、2016年までに相互交流人口400万人をめざすことを軸とした「日台観光サミット三重宣言」に合意しました。

●9月28日(土)に、東京日本橋に『三重テラス』がオープンします。

県産品を扱うアンテナショップという役割だけでなく、三重県の情報発信の基地であり、三重県を売り込む営業拠点として機能するよう求めています。



●三重県の平成25年度当初予算

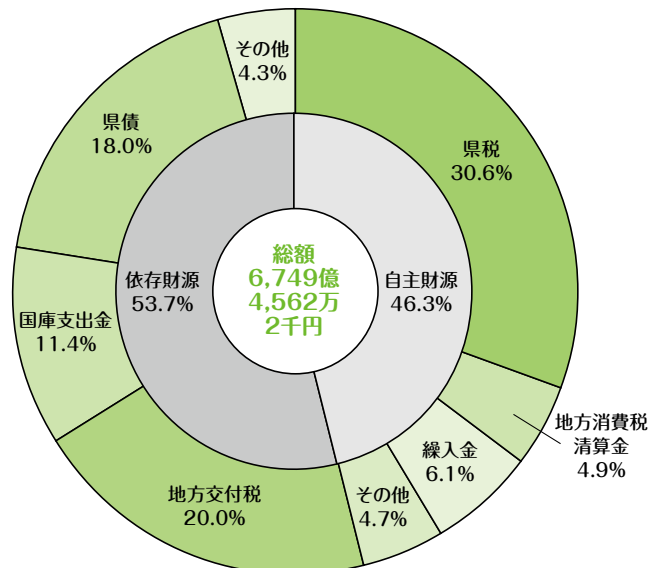
《歳入について》

一会計年度内(4月1日から翌年3月31日)において、県が必要とする経費(歳出予算)を賄うための財源を歳入予算といいます。

以下、収入調達方法に着目した自主財源・依存財源、及び使途の制約に着目した一般財源・特定財源の2つの性質別の歳入予算の内訳を示します。

自主財源は前年度比5.0%増
3,125億3,185万4千円

依存財源は前年度比2.5%減
3,624億1,376万8千円

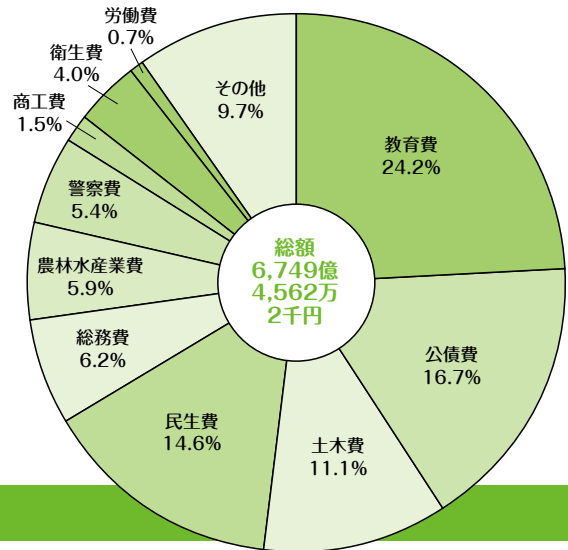


※一般会計の予算規模は前年度比0.8%増の6,749億4,562万2千円となっています。

《歳出について》

一会計年度内において、県が事業を行ううえで必要とする経費を見積もったものを歳出予算といいます。

※小・中・高各学校の教職員人件費、高校整備等の教育費が24.2%、公債費16.7%、道路・河川・公園等快適なまちづくりを進めるための事業を行う土木費11.1%であり、この3項目で歳出全体の5割強を占めています。



県の財政を一般家庭に置き換えてみると…

(単位:万円)

収入	平成13年度	平成23年度	備考
給料	348	260	県税収入、使用料諸収入など
親からの仕送り	351	321	地方交付税、国庫補助金臨時財政対策債
貯金取崩し	20	52	基金の取り崩し
ローン	84	66	地方債(臨時財政対策債は除く)
計(※1)	804	698	106万円の減少

(※1)10年間の収入推移 804万円→698万円(▲106万円)

(単位:万円)

支出	平成13年度	平成23年度	備考
生活費(※2)	670	576	94万円の減少
ローン返済	103	102	公債費
計	773	678	
ローン残高	864	1,225	
貯金残高	88	66	財政調整・その他特定目的基金

(※2)10年間の生活費推移 670万円→576万円(▲94万円)

生活費の主な内訳

- 福祉の向上に 63万円→102万円(+39万円)
- 農林水産業の発展に 68万円→42万円(▲26万円)
- 犯罪・交通事故防止に 39万円→38万円(▲1万円)
- 教育・文化に 190万円→175万円(▲15万円)
- 道路・住宅・公園などの整備に 144万円→87万円(▲57万円)

県の財政を一般家庭に置き換えてみた場合

- 平成13年度から10年後の平成23年度にかけて、(※1)収入の面では総額106万円の減少(13%のマイナス)
- (※2)支出の面ではローンの返済が高水準で推移しているため、生活費を切り詰めざるを得ない状況(94万円の減少)となっている。
- 借金(ローン残高)の総額は増え続けている。



●木曾岬干拓地にメガソーラー 設置工事に着手!

H25年5月2日	わんぱく原っぱ供用開始	H25年7月	工事着手
5月13日	メガソーラー設置運営事業に関する基本協定を丸紅株式会社と取り交わす。	H26年12月	完成
		H27年1月	発電開始(20年間発電事業実施予定)

*なお、木曾岬干拓地全体の土地利用については、木曾岬干拓地土地利用検討協議会にて検討を進めます。

●「命の大切さを学ぶ教室」～いなべ総合学園高校にて～

三重県警察本部が主催している教室で、犯罪のない安全で安心な地域社会を築くことを目的としておこなわれています。交通事故で娘さんを亡くされたお母さんが、ご自分の体験をお話くださいました。命の重さ、遺族の方の思い、交通事故の怖ろしさなど、生徒会長が感想を述べましたが、たいへん意義深い取り組みでした。



●三重県総合博物館 平成26年4月オープン!

新県立博物館の建物はすでにできあがっており、現在展示工事、企画展示の準備、広報活動をすすめているところです。

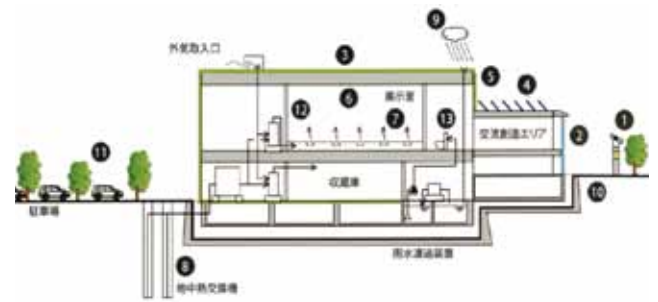
「三重県総合博物館条例」が6月会議に提案され、可決されました。入館者増、企業からの寄付などの収入増等によって、年間の運営費4億5千万円に対する県費負担について2割程度削減するとした方向を実現するよう県当局に求めています。また、津地域だけでなく、三重県全域の学校に対して博物館について周知し、活用が計られるよう進めていくことが大切です。

博物館用途で全国初!

建築環境総合性能評価システム

「CASBEE」認証のSランク取得!!

免震工法の採用による耐震性の向上、敷地内の豊富な自然環境(里山)の保全・活用、維持管理および将来の更新に対応しやすいゆとりのある施設計画に加え、具体的な環境への配慮を含め様々な取り組みが評価されました。



- ① **ハイブリッド照明**
太陽光・風力発電を利用した省エネルギー照明とします。
- ② **日射遮断(縦ルーバー)**
西側外窓に対して縦ルーバーを設置し日射負荷を低減します。
- ③ **屋根の断熱**
展示室屋根に二重屋根を設置します。
- ④ **太陽光発電**
自然エネルギーを利用するとともに、屋根の熱負荷を低減します。
- ⑤ **外断熱**
展示・収蔵エリアの安定した環境を確保します。
- ⑥ **高効率照明器具**
高周波点灯蛍光灯やLEDを採用します。
- ⑦ **床吹き出し空調方式**
天井の高い展示室の居住域上下温度差や気流速度が少なくなるように床吹き出し空調を採用します。
- ⑧ **地中採熱・放熱管と地中熱利用ヒートポンプ**
地中熱を利用した空調熱源システムによる省エネを採用します。
- ⑨ **雨水利用**
屋根雨水を集水して便所洗浄水等に利用します。
- ⑩ **樹木の再利用**
里山林の林床の保護などに再生チップを利用します。
- ⑪ **透水性舗装と駐車場緑化**
雨水流出の低減と暑熱環境の緩和のための透水性舗装と日射の遮断のための駐車場緑化をします。
- ⑫ **照明リモコンスイッチ**
展示室や収蔵庫における照明の点滅区分の細分化やスケジュール発等とします。

●みえボラパックで再び岩手県山田町へ

4月26日から29日まで、山田町へ。今回は現職・退職教職員を中心として活動している「こころネット」として、バス1台20人の参加でした。

現地からのリクエストは、「子どもたちを中心としたプログラム」「男性が参加しやすい講座」でした。私は子どもを中心としたプログラムに計画段階から関わり、現地でその活動を行いました。体を動かすということでは、ストレッチと風船バレーを、楽しめるものとしてはバルーンアートを練習・準備して行きました。

ストレッチ・風船バレーは、子どもたちと高齢の女性達が半々。和気藹々と楽しんでいただきました。バルーンアートは会場に入りきれないほど大盛況。簡単な「犬」から始まり、花や剣など各自が作りたいものをつかって持ち帰りました。

大きな声で笑ったり、走ったり、友達の家自由に遊びに行ったり、そんな暮らしから一変した毎日。仮設住宅ではDVや虐待が増加しているという実態が報告されています。災害発生当時から、三重県はボラバスを運行し、被災地支援に入ってきました。このバスの運行は、9月14日出発の「みえ発!ボラパックII」第35便をもって終了します。みえ災害ボランティアセンターも今年で閉じることは決められています。形を変えて今後どう支援を継続させていくか、今後の課題です。



ご意見・ご要望等、お待ちしております。

小島とも子事務所

〒511-0068 桑名市中央町4-44 ウインズビル3F
Tel.0594-25-8182 Fax.0594-25-8183
HP <http://kojima-tomoko.com> E-mail tomokokjm@gmail.com

facebook. 始めました。

活動の様子

地元の行事や、グループの集まりなど、是非お声がけください。

